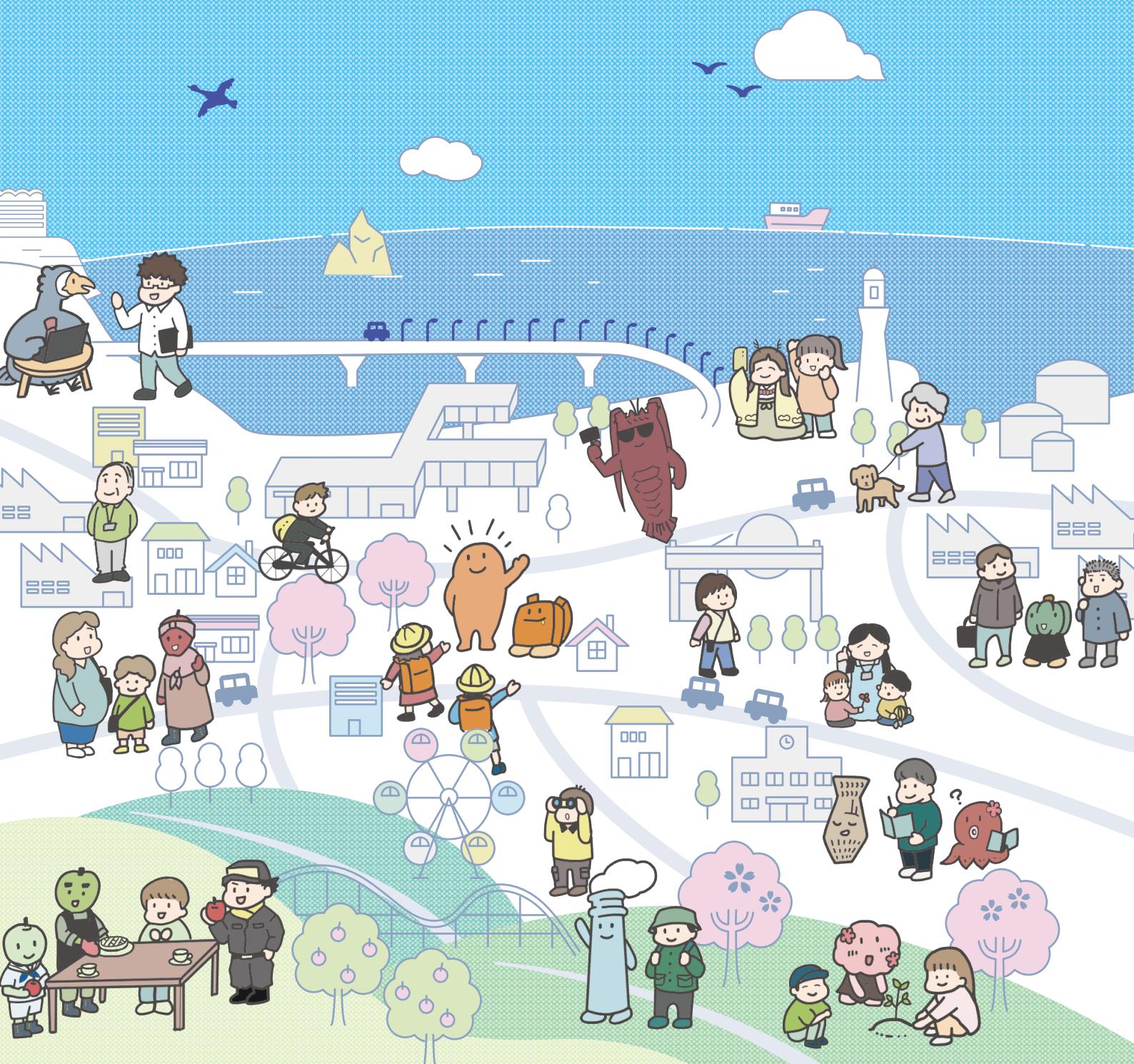


# 第3期

# 日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2025–2029





ごあいさつ

日立市長

小川 春樹



国が「地方創生」の取組を本格的にスタートさせた平成27年以降、各自治体は、地域の課題を把握し、その解決に向けて様々な地方創生・人口減少対策に取り組み、一部には暮らしやすさの向上や人口増加の好事例が生まれた一方で、国全体では、出生数の減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、多くの自治体では厳しい状況が続いているものと認識しております。

本市におきましては、自ら地域を創生するという考え方の下、平成27年12月に「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市が持つ様々な魅力や可能性を伸ばし、磨き上げ、ひたらしさを際立たせながら、切れ目のない子育て支援策を始め、住宅政策や雇用政策など本市独自の取組を間断なく推進してまいりました。

しかしながら、出生数の減少と死亡者の増加による自然減や、進学や就職等を契機とした転出者増加による社会減が依然として続いており、その克服に向けてさらに挑戦を続ける必要があるものと考えております。

これまでの歩みを止めることなく、持続可能なまちづくりを推進するため、今般、目標人口を含む中長期的な展望を整理した「日立市人口ビジョン」を改訂し、現在の地方創生・人口減少対策の取組を継承・発展させるとともに、デジタル技術などを活用して加速化・深化を図るため、「第3期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

本戦略は、これまでの第1期、第2期で培った成果や課題をもとに、本市の未来を描く新たな指針となるものです。

国は、昨年10月に、デジタル田園都市国家構想実現会議から発展した「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置し、「地方創生2.0」を起動させ、政策を具体化した今後10年間集中的に取り組む「地方創生2.0の基本構想」を本年夏までに策定することとしております。

これから約5年間は、本市の未来を左右する非常に重要な期間であると捉えており、ひたらしさを最大限に活用しつつ、人口減少を抑制し、誰もが安心して暮らし、働き続けられる「魅力あるまちづくり」を目指す取組を加速させていきます。特に、女性や若者が活躍できる環境づくり、デジタル技術の導入による市民サービスの向上などに重点的に取り組んでまいります。

結びに、本戦略の策定に当たり、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様、関係団体の皆様、また熱意をもってご協議いただきました有識者会議委員や市議会議員の皆様に、心から感謝申し上げます。本戦略が、日立市のより良い未来へつながる新たな一步となるよう、これからも市民の皆様とともに歩み続けてまいります。

令和7年3月

# 目 次

## CONTENTS

策定の趣旨	1
-------	---

### 第1編 人口ビジョン

1 基本的な考え方	4
2 人口の動向	5
3 将来人口の推計	13
4 人口の将来展望	15

### 第2編 総合戦略

#### 第1章 総論

1 基本的な考え方	22
2 計画期間	22
3 日立市総合計画との関係	23
4 計画の構成	24
5 地域ビジョン(目指すべき理想像)	25
6 基本目標と横断的な目標	26
7 推進体制と進行管理	27

#### 第2章 各論

1 基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする	32
2 基本目標2 新しいひとの流れをつくる	43
3 基本目標3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる	53
4 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	63

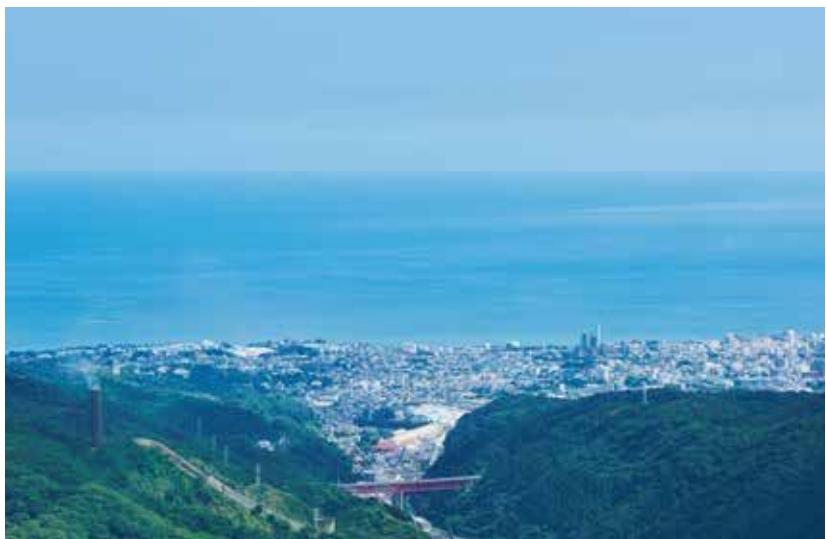
## 資料編

1 策定経過	72
2 策定体制等	73
3 将来展望に必要な調査	77
4 数値目標・重要業績評価指標（KPI）一覧	78
5 人口ビジョン図表データ	81
6 用語解説	82
7 SDGs（Sustainable Development Goals）～持続可能な開発目標～	85



### [日立市公式PRキャラクター]

日立市の様々な魅力を若年層や幅広い世代に親しみやすく身近に感じていただくため、キャラクターたちは、全て日立市独自の歴史や文化、特産物等を「ゆるキャラ」で表現しています。日立市の「日の出」をモチーフにした「ひたりん」や日立市の鳥をモチーフにした「ウミウさん」など全部で13キャラクターです。



神峰山から見た大煙突



吉田正音楽記念館展望カフェからの夜景



古房地公園

## 策定の趣旨

---

日立市では、急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、将来にわたって活力あるまちづくりを推進するため、2015（平成27）年12月に「日立市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）」及び「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」（計画期間：2015（平成27）年度～2019（令和元）年度）を策定し、「自ら地域を創生する」という考え方の下、地方創生・人口減少対策に向けた様々な取組をスタートしました。

2020（令和2）年には、「人口ビジョン」を改訂するとともに、「第2期総合戦略」（計画期間：2020（令和2）年度～2024（令和6）年度）を策定し、総合戦略に基づく地方自治体の取組を支援する「地方創生関連交付金」や企業版ふるさと納税制度を積極的に活用しながら、地方創生・人口減少対策の取組の充実・強化を図ってきました。

そのような中、国は、2022（令和4）年12月に、デジタル技術の活用によって、地域の個性をいかしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化させるため、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。

さらに、2024（令和6）年10月には、「デジタル田園都市国家構想実現会議」を発展させた「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置し、2025（令和7）年夏に、今後10年間で集中的に取り組む具体策などを示す「地方創生2.0の基本構想」を取りまとめるとしています。

「第3期総合戦略」では、このような背景を踏まえ、これまでの総合戦略の効果検証を行った上で、改めて「人口ビジョン（目標人口）」を改訂するとともに、今後5年間で重点的に取り組む施策の基本目標、基本的方向等を定め、地方創生・人口減少対策の取組を推進していきます。



日立駅からの日の出



ヒタチスターライトイルミネーション



日立風流物